

令和7年度 梅南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	38	39	22	9.8	18.4
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
	理科
学校	428
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

令和7年度 梅南中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

＜国語＞

「話すこと・聞くこと」の領域内「スライドを使ってどのように話しているのかを説明したものとして適切なものを選択する」問題において、全国平均の38.1%に対して39.5%と上回った。

しかし、「書くこと」の領域に関しては全国平均52.8%に対して36.8%と、大幅に下回った。ここから、記述問題に課題が見受けられる。全体的には、全国平均54.3%に対して39%と、大幅に下回った。

＜数学＞

大阪市・大阪府の正答率と比較して、大きく下回る結果となった。特に、関数の単元の正答率が大きく下回った。

基礎的な計算や方程式を解く力を必要とする、形式が予想しやすい出題を解く力は身につけてきているが、応用力が身につけていないことが顕著に表れた。

＜理科＞

今回から導入されたというIRTという統計理論によると、本校のIRTスコア(500を基準とする)は、「428」(全国503、大阪府487)であった。全項目について平均を下回る結果であった。

理科の学力調査は、今回初めてコンピューターを使用したもので、通常のテストとは異なり小問集合のような出題形式であった。物理・化学・生物・地学の問題が混合して出題されるため、問題の流れがつかみにくく、さらに動画を見て答えるという特殊な出題形式は慣れていないと難しかったと思う。また、塩素の元素記号を答える問題の正答率が31.6%(無回答率13.2%)だったのが特に気になった。基礎の定着のための反復練習が必要である。

【今後に向けて】

○全国学力・学習状況調査結果

＜国語＞

「書くこと」に関して苦手意識を持っている生徒が多いため、記述問題対策や作文の練習をさせる。また、問題を解く速度が遅いことや、無回答率の高さが目立つことから、時間を意識して問題を解く練習も取り入れていく。さらに、読解力を向上させるため、ワーク等を活用していろいろな文章問題を解かせていく。

＜数学＞

大阪府や私立志望校の入試問題を中心に、それ以外の様々な問題に取り組むことで、読解力や応用力を身につけさせる。

＜理科＞

動画を見て答えるのと、文章を読んで答えるのでは、必要とされる力が異なるため教員側も戸惑っている。今年度の3年生はこれまで毎年理科の先生が変わっているため、系統立てた指導ができていないのも定着率の低さの要因のひとつかもしれない。受験に向けて、1・2年の範囲の基礎的な内容の復習・演習に特に力を入れる必要があると感じた。

令和7年度 梅南中学校のあゆみ

—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

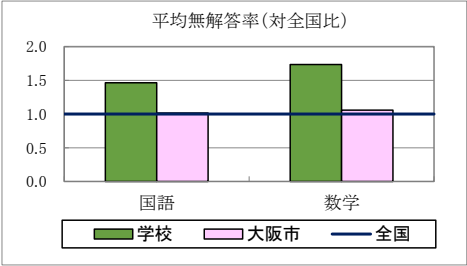
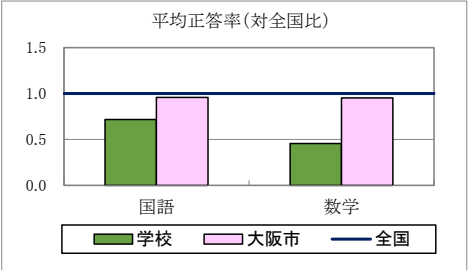
全国学力・学習状況調査

教科に関する調査より

【 全 体 】

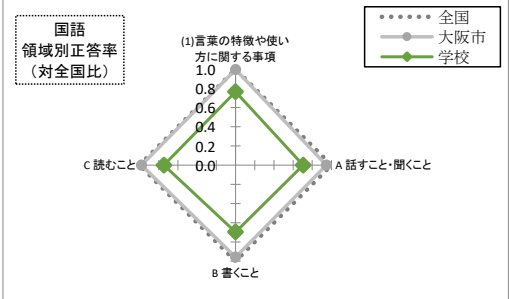
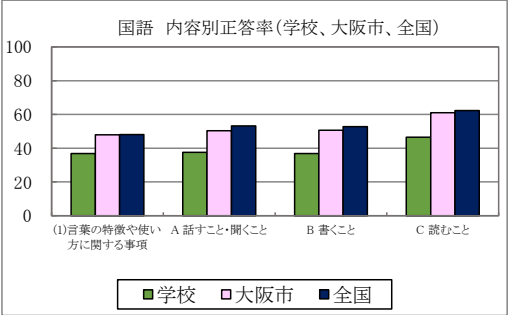
	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	39	22
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	9.8	18.4
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6



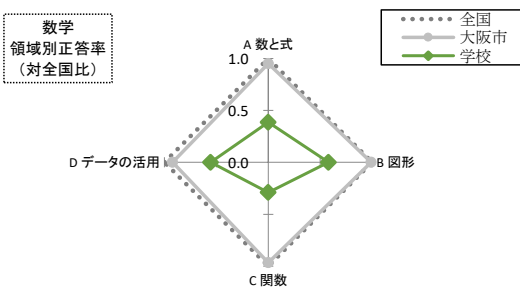
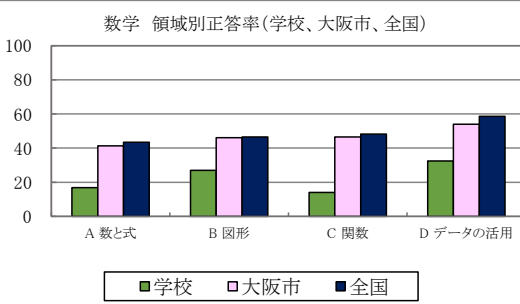
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	36.8	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	37.5	50.4	53.2
B 書くこと	5	36.8	50.6	52.8
C 読むこと	3	46.5	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	16.8	41.4	43.5
B 図形	4	27.0	46.1	46.5
C 関数	3	14.0	46.6	48.2
D データの活用	3	32.5	54.0	58.6

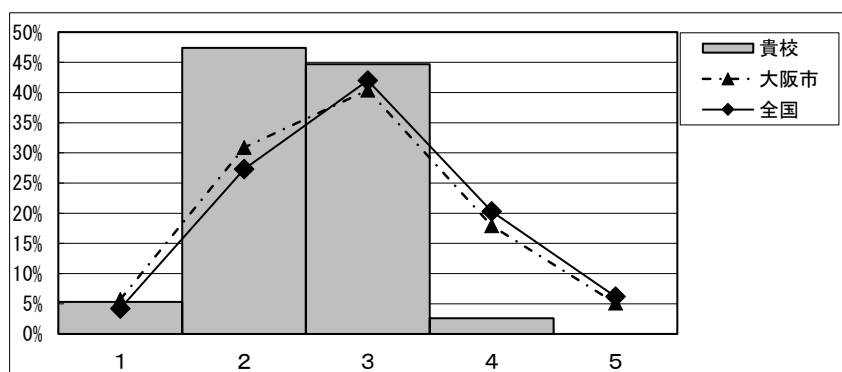
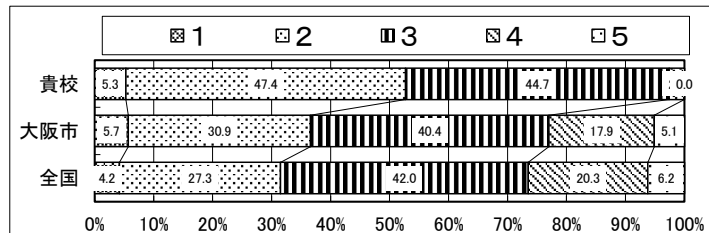


令和7年度 梅南中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	428
大阪市	489
全国	503



令和7年度 梅南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

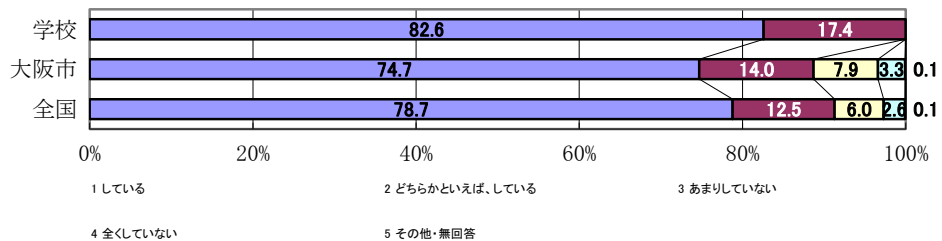
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

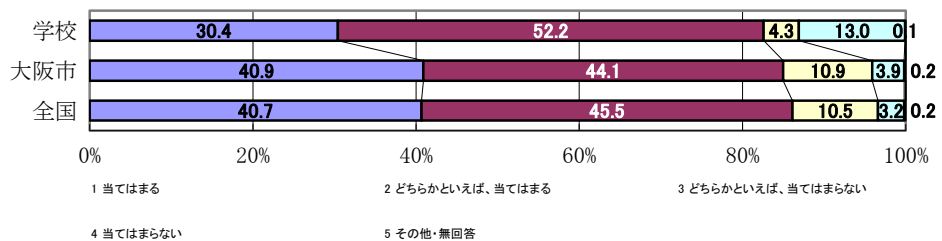
1

朝食を毎日食べていますか



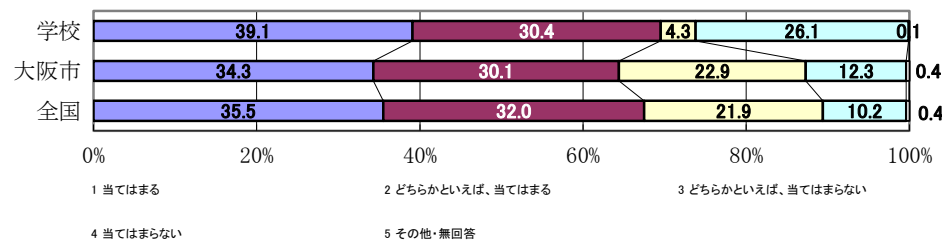
5

自分には、よいところがあると思いますか



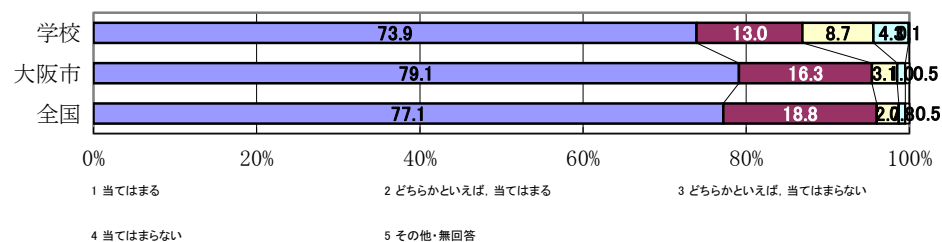
7

将来の夢や目標を持っていますか



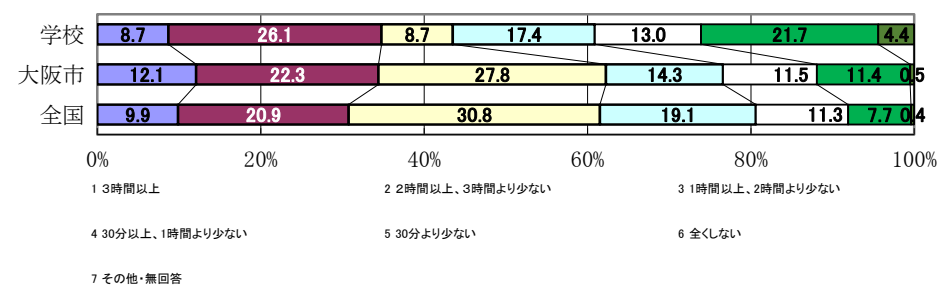
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



令和7年度 梅南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

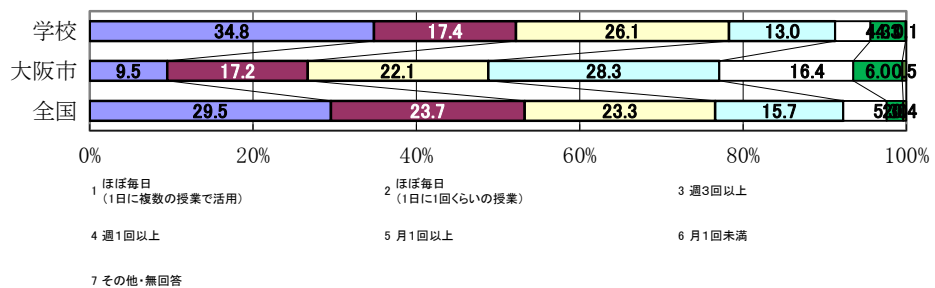
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

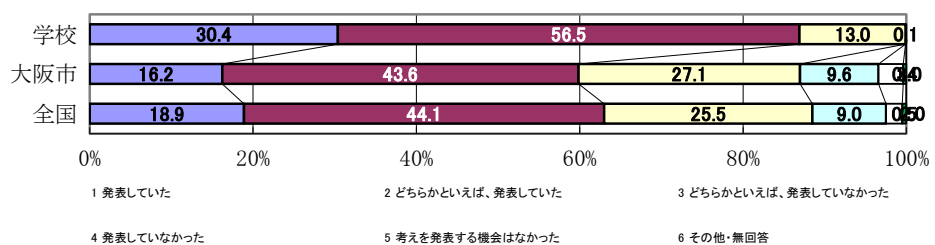
28

1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



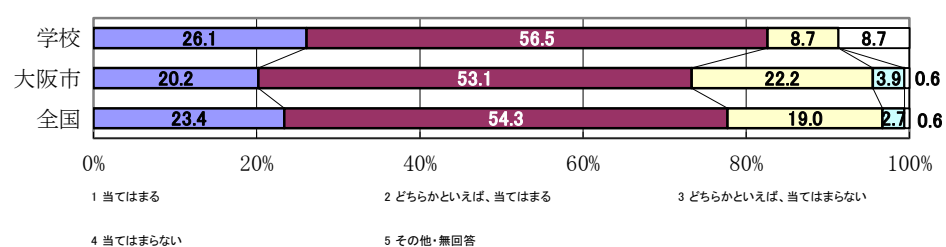
31

1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



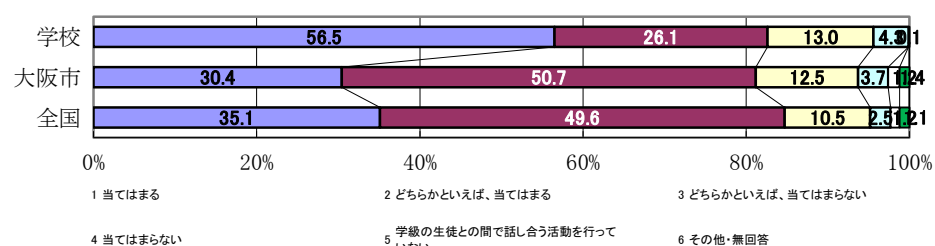
32

1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



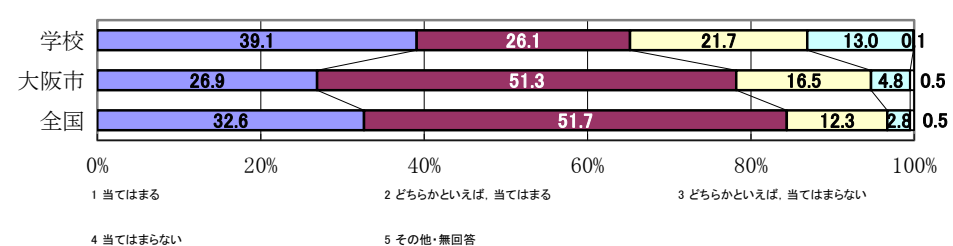
35

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



41

あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



令和7年度 梅南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

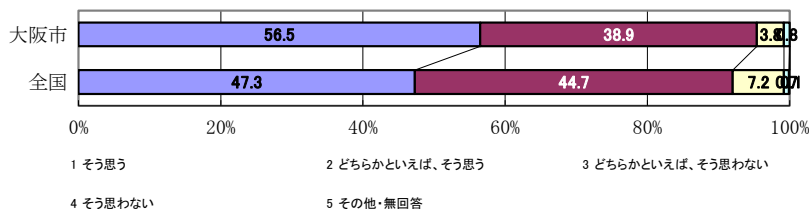
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

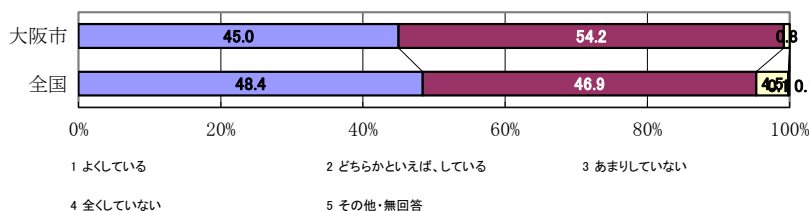
学校 「そう思う」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

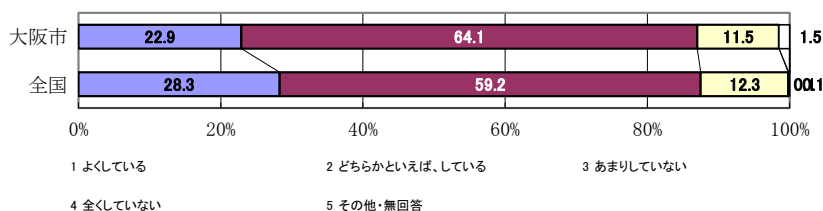
学校 「よくしている」を選択



19

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

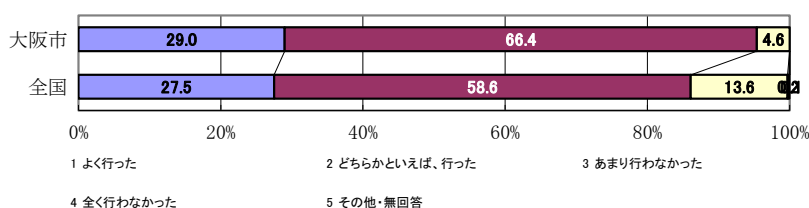
学校 「よくしている」を選択



32

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

学校 「よく行った」を選択



58

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日(1日に複数の授業で活用)」を選択

